

陳謝と取消し

改造社発行雑誌「」の昭和二十六年七月号に執筆の下に「霞ヶ関のニューフェイス」という見出しで、貴殿等外務省官吏の太平洋戦争勃発前後に於ける行動に関し、貴殿等が外務省官吏として奉職中、所謂革新派という派閥を作つて、国の外交政策に反対し、政変毎に自己の抱懷する政策を実行させるため組閣本部に対し外相擁立運動をなし、日米交渉の内容を軍部にもらし軍をして交渉継続に反対させ、排英運動に参加し、外相を屈服させて枢軸一辺倒の人事を断行させ、日本を日独伊軍事同盟への軌動に誘進させ、外相をして所謂革新派の立案による旋風人事を断行させ、更に外相の下に軍のスプリングボードとなつて外交面に軍の全面的進出を招来し、内務、大蔵、商工の革新官僚と通謀し大東亜省を新設させ、外相の時日米交渉を妨害したという理由で退職させられた事実無根の記事を掲載し、之により貴殿等の名譽信用を毀損したことは、全く私共の不明の致すところで詢に申訳ありません。

茲に深く陳謝すると共に貴殿等に関する右記事全部を取消します。

株式会社改造社

社長

